

番号	55	名称	旧常磐橋
指定日	平成 19 年 3 月 28 日	所在地	大手町二丁目～中央区日本橋本石町二丁目（日本橋川）
設計者	山城祐介	竣工	明治 10 年（1877）



### 歴史・文化的特徴

江戸城の正門にあたる常磐橋門の前に架かる橋である。常磐橋門は国史跡に指定され、小公園となっている。公園の中には渋沢栄一像が建てられている。

石橋は、廃止された常磐御門の石垣の一部を再利用したと言われている。

### 意匠・構造の特徴

東京都内唯一の洋風石造アーチ橋として貴重である。

灯籠様の親柱、石積の橋台など御門を意識した和風の意匠が用いられている。

橋名板には「紀元弍千五百三十七年六月造」とある。路面も石貼りであり、車道、歩道で貼り方が異なる。手すりは改装されているが、現在のものも凝った意匠とされている。

石貼り 2 連アーチの優美な姿が印象的である。

### 周辺景観との関係

特徴的な親柱、石貼の路面をよく見ることができる。眺望は首都高速道路の高架によりあまり開けない。

道路や公園からアーチ橋の印象的な姿がよく見えるが、高架により圧迫感のある景観となっている。水面からは 2 連アーチの優美な姿を見ることができるが、高架が橋への視界を遮っている。

片側一車線と歩道が設けられているが、現在は公園の歩行者専用道となっている。